

インド通信

2024 年 11 月

玉東町グローバル卒業生

澤村啓之

インド通信第 9 号です。

今回は市内を走る市民の足、バンガロールメトロのお話です。

このバンガロールメトロもデリーメトロ同様、日本の援助で開通しました。

現在、南北に走るグリーンラインと東西に走るパープルラインの 2 ラインが運行しています。将来的には 7 ラインになるそうで、現在あちらこちらで工事が進められています。

メトロという名前がついていますが地下鉄ではありません。大半が地上、しかも交通緩和のために高架を走ります。

バンガロールの通勤時の交通渋滞は世界的にも有名で、このメトロは渋滞に巻き込まれず通勤できる快適な手段として市民に愛されています。。

とは言っても通勤時間の乗換駅の混雑はものすごいです。よくもこんなに人がいるものだ！さすが人口 14 億のインドだ！なんて変な感心をしたりしています。

私の住んでいる場所はグリーンラインの北の終点駅です。

私も休みの日にはメトロに乗って街中に買い物に出かけたりします。

日本と違ってどのメトロ駅でも改札の前にセキュリティチェックがあり荷物を検査されます。まるで空港のようです。

セキュリティチェックが済んだら窓口で切符を買います。行き先を告げ料金を払うとコインのトークンが渡されます。これが切符です。このトークンを改札でタッチすればゲートが開き、出るときは改札に回収用の穴がありそこにトークンを入れて改札を出ます。

現在、路線の伸延工事が急ピッチで進んでいますが、私のいる間にバンガロール空港まで開通してくれると便利になりすごく嬉しいのですが。。。。



ラッシュ時の乗換駅の混雑



日本の援助に対するお礼



メトロの切符のトークン